平成２９年１２月

各　位

放射線障害防止中央協議会

会 長　山下　孝

平成２９年度　放射線安全管理研修会のご案内

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から間もなく７年になろうとしていますが、被災された方々の心労はまだ癒されたと言えない状況かとご推察いたします。あらためて心からお見舞い申し上げるとともに、震災後の復旧、復興に今なおご尽力されておられる皆様には、更に健康･安全に留意されてご活躍されますようお祈りいたします。

さて、当協議会は、放射性同位元素等を取り扱う皆様の認識を高め、安全管理を徹底し、放射線障害の発生を未然に防止するよう適切な対策の検討・推進をしていくことを目的に、関係機関が集まり、相互協力のもと自主的に活動する機関として昭和４９年に設立され、研修会等の諸活動を実施しております。

本研修会はその活動の一環として、公益財団法人原子力安全技術センターとの共催並びに公益社団法人日本アイソトープ協会及び医療放射線防護連絡協議会の協賛により開催するものです。

**今回の研修会では、前回（平成２９年９月）の研修会と同様に「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」の改正状況と規則等の検討状況について、原子力規制庁担当官から**「放射線障害防止法関係の最近の動向」と題して午前中に拡大講演を予定しております。

午後からは「ICRP／ICRUによる新しい実用量の定義について」（東京会場）、「放射線安全の理念と防護の体系」（大阪会場）の講演を、また、「被ばく医療体制の現状と課題」の講演を予定しております。

さらに特別講演として、「放射線によって誘導される抗腫瘍免疫と“免疫放射線治療”の可能性」について講演を予定しております。

本研修会は、第一線で活躍する様々な分野における専門家を講師に迎え、時宜を得た講演を受講することができる貴重な機会であり、放射性同位元素や放射線発生装置等取扱事業所の安全管理に携わる皆様、並びに、放射線にご関心をお持ちの皆様にとって非常に有益な情報を得ることのできる内容になっております。

関係各位には、本研修会に奮ってご参加頂けますよう、ご案内申し上げます。

敬具